

調 査 研 究 活 動 実 績

一燈立志の会

代表 武石利彦

令和 6 年度の政務調査研究に関する「一燈立志の会」の主な活動の実施状況を報告いたします。

1. 中山間対策について

中山間地域における高齢者の見守り、買い物弱者対策、移動手段の確保などについて聞き取り調査を行なった。

農業分野においても集落協定による地域協働の取り組みがなされているが、若手が農業担い手として参入できるような仕組みづくりについて調査研究を行った。

また中山間地域で子育てをしながら就農をされている女性からお話を伺うなどして、女性の就農支援対策について調査活動を行った。

2. 指定管理者施設について

県の指定管理者施設の運営状況、および職員の就労状況について調査を行った。指定管理者による努力が実り、入場者が増加した場合において、増加した収益を次への展開に運用しやすい制度設計にすべきではないか、といった点が課題として浮き彫りになった。また職員のモチベーションが高まるような処遇改善をすべきであるとの課題も浮き彫りになり、会派として課題解決に向けた提言を県に対して行った。

3. 高齢者の見守り対策について

本県の都市部、中山間地域において一人暮らしの高齢者数が増加している。よってその状況について視察調査を行った。

調査してみると孤独死といったケースもみられたことから、平常からの見守り対策の構築が急がれるとの課題が浮き彫りになった。

情報通信機器を活用した見守り対策にも取り組まねばならないが、中山間地域における通信環境などの課題も存在する。また機器を活用して異常を発見した場合の初動態勢の構築もせねばならない。

都市部、中山間地域における見守り体制については、やはり人的交流を保つことが重要であり、そのような交流活動の促進が大切であることから、先進事例を県下各

地に広げることの重要性を認識した。

4. 有機農業の推進に向けた調査研究

県内で有機農業に取り組む生産者の団体の取り組みを支援するとともに成果や課題について引き続き調査研究を行った。少量多品種の有機野菜の希少価値を高めるような販路の開拓、そのための知名度アップに取り組む活動を支援した。食の安全性への関心が高まっている中、中山間地域で付加価値の高い有機野菜づくりの取り組みを広げることは、移住者や若手の農業参入も期待できることから、地域の活性化にもつながるものであると考える。

都市部の高級レストランなど高価格帯での販路拡大や台湾などへの輸出に向けての取り組みも支援した。

5. 不登校、引きこもりについて

県内における不登校、引きこもりの実態について関係者から聞き取りをするなど調査を行った。不登校や引きこもりになる原因を調査するとともに、不登校の児童生徒の気持ちに鑑みた対応をする方策について探った。

6. 動物愛護についての調査研究

保護犬、保護猫の増加が地域社会の課題になっている中、ボランティアの保護活動について調査研究を行なった。動物愛護センターの早期完成が望まれるなか、郡部における獣医師の協力体制の構築に取り組んだ。また捕獲器の確保に努めるとともに、TNR活動を支援し地域猫活動の普及啓発に取り組んだ。

7. 予土線について

予土線は本県と愛媛県を結ぶ路線であり、通勤・通学、また観光の足としての役割を果たしている。一方で乗車人数の減少により JR 四国の路線の中でも赤字路線として位置付けられている。高知、愛媛両県として、沿線市町も含めての路線存続活動について参加し、調査活動を行った。沿線人口が減少し続ける中、観光客の利用拡大を図らねばならない。四万十川の眺望なども目玉になると思われることから、官民一体となった取り組みを展開せねばならない。

8. 海外展開に向けての調査研究

県立のいち動物園と台湾の台北動物園の協定締結に向けての取り組みを行なった。園の充実や安定的持続を図るためには海外の動物園との協働が重要であるため、協定締結に向けた取り組みを行った。また県立牧野植物園とハワイのフォスター植物園との交流に向けた取り組みを行った。職員のモチベーション向上、スキルアップにも繋がることから活動を展開した。ハワイにも高知県に縁のある方々が多くハワイに高知県人会を設立してもらい、人的交流や地産外商の可能性を探った。

9. 観光振興に向けての調査研究

本県の観光振興に向けて宿泊施設の充実強化について調査研究を行った。高知県内に県外資本のホテルが相次いで進出する動きの中で、地元旅館ホテル関係者から聞き取りを行った。従業員の働きやすい環境づくりや地元食材の活用など経営の充実強化、地消地産の取り組みが広がるよう取り組んだ。

10. 公共交通の活性化に向けた調査研究

人口が集中する県都高知市および過疎化が進行する中山間地域において公共交通の充実、機能強化は急務である。とさでん交通や中山間地域の公共交通事業者の経営状況や課題について聞き取り調査を行い、課題解決に向けて県や市町村に提言を行った。今後は運転手の確保といった課題にも取り組まねばならない。

以上